

中頭指導行政の基本方針
重点目標

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造
～地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する魅力ある学校づくり～

育成をめざす資質・能力
○実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得
○未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
○学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

国・県の施策
○学習指導要領(平成29年)
○「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」(国)
○新・沖縄県21世紀ビジョン基本計画
○沖縄県教育振興基本計画
○「英語立県沖縄」推進戦略事業
○学校教育における指導の努力点
○沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ
○「問い」が生まれる授業サポートガイド

家庭の取組
○規則正しい生活リズムの確立
○スマホ等の利用ルールづくり
○学習習慣の確立
○ファミリー読書の推進

重点事項 「わったーわらび」の学力保障と成長保障

長期目標: 持続可能な社会の創り手となる幼児児童生徒の育成
総括目標: 幼児児童生徒一人一人に「生きる力」の基盤となる新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力を育む。

基本方針
1 教育活動全体を通じての国際理解教育の推進
2 小学校における外国語活動と外国語の充実
3 中学校における外国語(英語)教育の充実
4 帰国・外国人児童生徒教育の充実

取組事項
1 自国や外国の文化に対する理解を深め、異なる文化を持つ人々と協調して生きていく態度の育成
2 小学校において、学級担任や英語専科指導員が中心となり、AETやALT等を活用したチーム・ティーチング等、指導方法の工夫
3 中学校において、小学校外国語と連携した系統的な指導
4 4技能による実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の育成
5 帰国・外国人児童生徒の組織的な支援・相談体制の整備

令和4年度の状況

○生徒の英語力(英検3級以上)
中学3年生=36.6%(目標50%)
○生徒の言語活動状況
(授業の半分以上、言語活動)
中1=56%(18校)
中2=56%(18校)
中3=69%(22校)
○教師の英語使用状況
(発話の半分以上、英語)
中1=63%(20校)
中2=66%(21校)
中3=69%(22校)
○教師の英語力(英検準1級以上)
全体=63名(49%)

地域の取組
○青少年健全育成の日奨励
○放課後子ども教室推進事業
○地域学校協働活動推進事業
○CGG運動
○体験学習等への連携・協力

学校の取組
国際社会に対応できるコミュニケーションを図る資質・能力の育成

○教師の「3つの視座」に基づく教育の推進
第1視座
組織的な聞くことのしつけ
第2視座
主体的な学びづくり
子供のエネルギーを活用した活動づくり
第3視座
子供の自分の信頼を高める「勇気づけ」

①異なる考えや意見を受け入れ
たり相手思いやる心の育成
②各教科等の目標や内容との
関連を踏まえた全体計画の
作成

①担任中心の指導ができるよう
指導法の研究や教材作成
②FTの活用と授業づくりの共有化
③教科書の活用による指導

1 国際理解教育の推進
2 外国語活動・外国語科の充実
3 中学校英語教育の充実
4 外国人児童生徒の支援

①小学校外国語科との接続
②教師の英語による授業実践
③生徒同士の思いや考えを伝え合う言語活動
④生徒の英検3級以上取得と英語教員の英語力向上

①帰国・外国人児童生徒の的確な実態把握
②帰国・外国人児童生徒の特性を生かし、相互に啓発し合える環境づくり
③生活背景、発達段階に応じた効果的な日本語指導の工夫

○学校の活性化に効果の期待できる取組
1 校長講話(めざす姿の共有)
2 指導案作成と授業実践
3 授業を補完する取組
4 五者会等へ学校事務職員が参加
5 学校評価の分析・活用
6 校長による授業参観と助言
7 評価システム面談にてめざす姿等の確認
8 校内教育支援委員会の充実

「学びの質」を高める「子ども視点」の授業改善(外国語)

	視点1 自己肯定感の高まり	視点2 学び・育ちの実感	視点3 組織的な関わり	改善ツール等
方策1 日常化する 【質的授業改善】	○単元を見通した資質・能力を育む授業改善・校内研究 ○生徒指導4つのポイントを生かした授業 ○よさや進捗状況の積極的評価 ○語彙数の増加に伴う、より多くの語に触れる機会の提供			○授業における基本事項 ○授業プランシート ○「帯活動」指導計画
方策2 そろえる 【組織的共通実践】	○調査分析に基づく児童・生徒の実態認識を共有 ○「話すこと(やりとり)」の新設領域を踏まえた言語活動の継続的指導 ○文法事項を言語活動を通して育成する			○授業スタンダード等 ○英語教育実施状況調査 ○パフォーマンステスト
方策3 支える 【発達の支援】	○支持的な風土をつくる学級経営 ○確かな児童・生徒理解 ○学びに向かう集団づくり ○ICT、タブレット端末の効果的な活用			○キャリアパスポート ○不登校支援の手引
方策4 見通す 【学校組織マネジメント】	○学校課題の解決に向けた組織マネジメント機能を高める。 ○「学力向上」と「生徒指導」を一体化した年間計画(年間サイクル)の作成			○学校デザインシート ○ルーブリック、フォーカス
方策5 つなぐ 【学校連携・地域連携】	○市町村教育委員会による特色を生かした施策推進による学校づくり ○キャリア教育の視点を踏まえた校種間連携 ○小・中学校外国語科の接続			○学校運営協議会制度 ○キャリア教育の推進 ○小中連携研修

カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進
— 社会に開かれた教育課程の実現 —

中頭地区学力向上推進委員会【共通確認・共通実践事項】

しっかり教える モデル(教えて)「価値」「形」
コーチング(考え、指向させ)「強化」「修正」
フィードバック(価値付ける)「勇気づける」

じっくり考え、させてみる 主体的な学びづくり 子供が学び合う授業づくり
「主体的・対話的で深い学び」
学習規律づくり 学び合い・学校・学級をめざす組織的な活動
「支持的風土の醸成」

たっぷり価値づける 子供自身が自分への信頼を高める
「勇気づけ」「自己肯定感の高まり」
「承認」

① **統一** 発達段階に応じて学級経営や教科経営の内容・方法を統一し、校内で組織的に進める

② **徹底** 評価と指導・支援を繰り返し、定着するまであきらめない

③ **連動** 学校におけるすべての指導を連動させ、一貫した方針による授業を実践する

④ **評価** 取り組みの進捗状況を定期的に点検・評価し、課題については新たな改善策を講じる

学び合う教職員の資質・能力向上

チーム学校づくりの推進